

目次



埼玉県立自然の博物館の使命について	2
I 沿革	3
II 組織及び職員構成	5
III 施設の概要	6
IV 展示の概要	7
V 平成28年度事業計画	
1 管理運営事業	8
2 展示事業	8
3 教育普及事業	10
4 資料収集整理事業	11
5 調査研究事業	11
6 国指定天然記念物関連事業	12
VI 平成27年度事業報告	
1 管理運営事業	13
2 展示事業	16
3 教育普及事業	21
4 資料収集整理事業	35
5 調査研究事業	38

国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」・・・表紙裏

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとのかかわりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

「川の博物館」と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 さまざまな人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

I. 沿革

昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
- 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
- 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
- 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定 (長瀨町)
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
- 54.4.1 準備委員 4 名発令 (2 名増員)、建設敷地等について秩父鉄道 (株) と協定締結
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
- 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7 社)
- 55.10.1 準備事務所職員 1 0 名発令 (5 名増員)
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.4.1 準備事務所職員 1 9 名発令
- 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
- 56.10.30 展示工事完成
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9~21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令

平成

- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成

- 3.3.12 日本生命財団より展示総合案内寄贈
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19~11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1 ~ 第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定 (埼玉指第 462・463 号)
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17~8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修

14.10.5～12.8 特別展「奥秩父の自然」開催
 14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村
 豊写真展」開催
 15.4.1 館長 谷井彪発令
 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
 16.12.27 駐車場改修工事完了（第二工区）
 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天
 然記念物指定（埼文指第 503 号）
 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博
 物館」設置
 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令（川の博物館長と兼務）
 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
 19.4.1 館長 本間岳史発令（川の博物館長と兼務）
 19.11.23 入館者累計 250 万人達成
 20.2.2 展示室リニューアルオープン
 20.4.1 館長 本間岳史発令（兼免）
 20.4.1 環境担当（川の博物館常駐）を設置
 20.7.20 ～8.31 特別展「巨大昆虫の世界 II」開催*
 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
 22.4.1 館長 井上肇発令
 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用
 を探る—」開催*
 23.4.1 館長 根岸玲発令

23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館
（講師派遣等館外で行う事業は実施）
 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと
 秩父のおごつつおう」開催*
 24.4.1 館長 渋澤重雄発令
 24.10.6 リフレッシュオープン
 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催*
 25.4.1 館長 井上尚明発令
 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・
 ひと・モノ—」開催*
 26.4.1 館長 井田秀夫発令
 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者
 たち～」開催
 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地
 下資源の利用と人々の暮らし～」開催*
 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン～ダンゴムシ
 からゾウまで～」開催
 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ～魚の生
 態と伝統漁法～」開催*
 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺
 乳類化石群」指定（パレオパラドキシア及び
 チチブクジラ計 3 件県指定解除埼文指第
 462、463、503 号）
 28.4.1 館長 中村修美発令

*印 企画＝自然の博物館、実施＝川の博物館



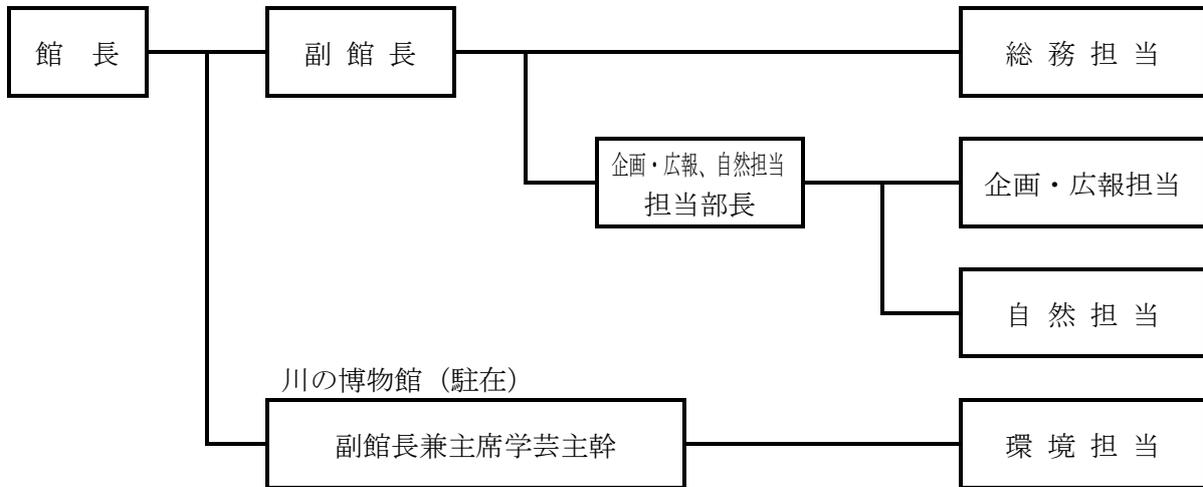
表紙写真について

写真は、ブコウマメザクラという石灰岩地を好むサクラです。地形が急峻で土壌の性質も特殊な石灰岩地は、厳しい環境である一方、固有の植物も数多く存在します。ブコウマメザクラは種の基準となるタイプ標本が武甲山で採取された、埼玉ゆかりともいえる好石灰岩性植物のひとつです。当館では、今年度から3か年計画で石灰岩地の調査を始めました。動物・植物・地質すべての分野が関わる総合調査で、植物分野では、どこに、どのような植物が生育しているかを調べています。開発の危険にさらされやすい石灰岩地に懸命に生きる彼らの姿を、いずれご紹介したいと思います。

（自然担当学芸員 木山加奈子）

II. 組織及び職員構成（平成28年度）

1 組織



2 職員構成（平成28年4月1日現在）

館長 中村修美
副館長兼主席学芸主幹 榎井尊
副館長 福島孝彦
○総務担当
担当部長 黒田利彦
主任 河田隼一郎
主事 宮崎達弥

○企画・広報、自然担当

担当部長 平沢正利

○企画・広報担当

担当課長 山田和彦
担当課長 野村浩
主任 相馬一行

○自然担当

担当課長 曾根崎猛史
主任学芸員 井上素子
学芸員 須田大樹
学芸員 小林まさ代
学芸員 北川博道
学芸員 木山加奈子
学芸員 半田宏伸

○環境担当

担当課長 東宏昭

専門員兼学芸員 大久根茂

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

3 人事異動

平成28年3月31日

館長 井田秀夫（転出）
学芸主幹 西口正純（転出）
学芸員 奥村みほ子（転出）
主事 清家一馬*（任期満了）

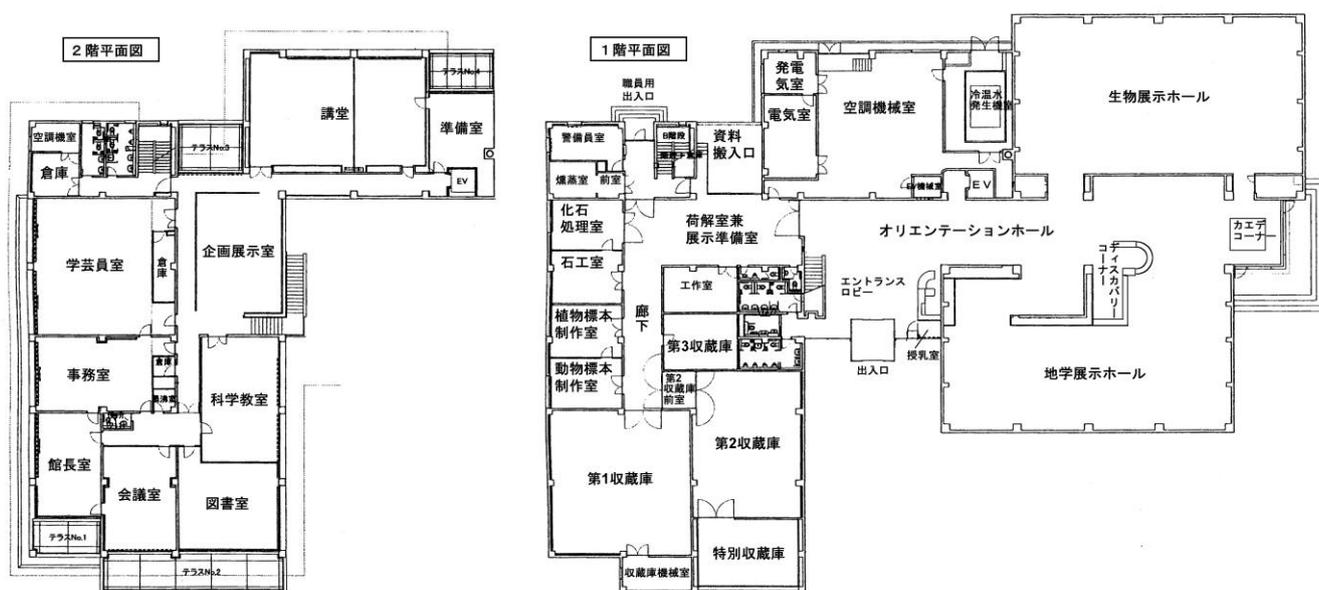
（*印：臨時的任用職員）

平成28年4月1日

館長 中村修美（配置転換）
副館長 福島孝彦（転入）
企画・広報、自然担当 担当部長 平沢正利（転入）
自然担当学芸員 須田大樹（転入）
自然担当学芸員 小林まさ代（配置転換）
専門員兼学芸員 大久根茂（転入）

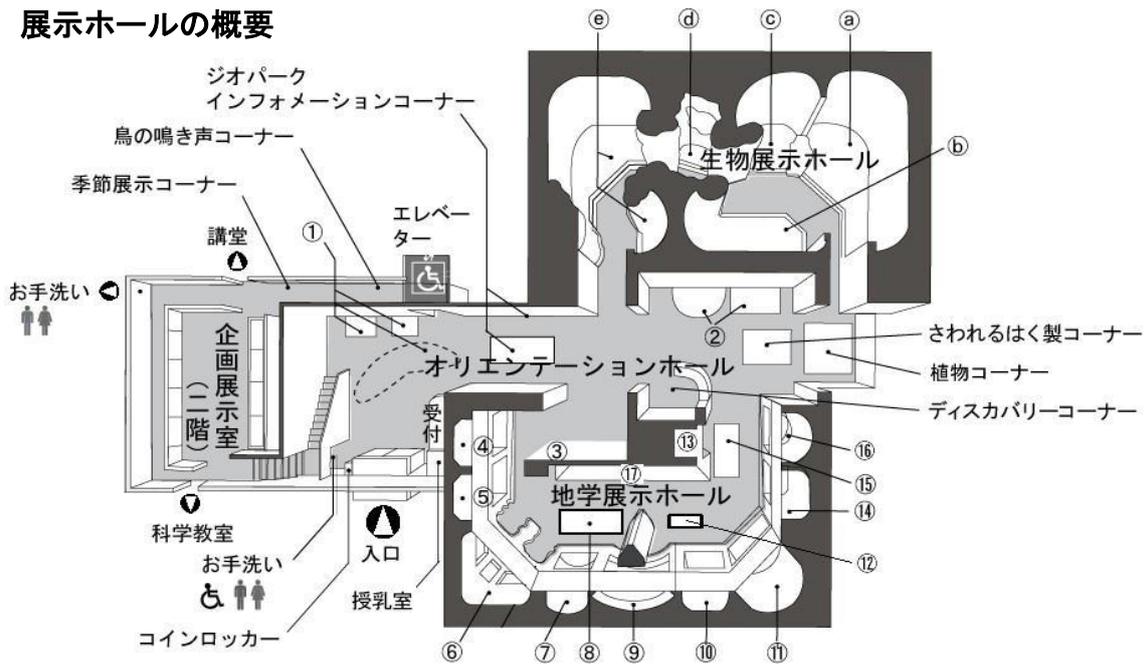
Ⅲ. 施設の概要

- 1 所在地 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1
- 2 敷地面積 9,948.76㎡
- 3 建物の構造及び床面積
鉄筋コンクリート、2階建、建築面積2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡
- 4 各部門及び各室の面積
 - (1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)
エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、
生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)
ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)
 - (2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)
講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)
 - (3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)
学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)
 - (4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)
化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、
工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)
 - (5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、
特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)
 - (6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)
館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、
機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)
 - (7) その他(共通) 203.89㎡(6.7%)
エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



IV. 展示の概要

1 展示ホールの概要



2 展示テーマ (丸数字、丸記号は上の図と対応している)

◇ オリエンテーションホール

- ・(総合サイン) 過去から未来へ
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・カルカロドン・メガロドン①
- ・ジオパークインフォメーションコーナー
長瀨の地質
秩父・長瀨の地質学史と博物館のあゆみ
長瀨の見どころ
- ・パレオパラドキシア②

◇ 体験ゾーン

- ・ディスカバリーコーナー
新たな発見や感動の体験
- ・植物コーナー
- ・さわれるはく製コーナー
親しまれているけもの

◇ 地学展示ホール

- ・荒川上流部③
- ・秩父帯の地層
秩父帯の地層④
2億5000万年前の海の様子⑤
秩父鉾山⑥
- ・恐竜時代の地層⑦
山中地溝帯
1億年前の海と陸のようす
恐竜ガリミムスブラツス⑧
- ・ソールマーク
- ・埼玉の変成岩⑨
- ・盆地と丘陵⑩

- ・砂泥互層
- ・新時代の幕あけ⑪
第四紀はじめの化石林—メタセコイア—
- ・地層の断面
- ・天然記念物コーナー⑫
チチブクジラ頭骨化石
オガノヒゲクジラ頭骨化石
- ・第四紀の化石⑬
- ・アケボノゾウがいたころのようす⑭
- ・アケボノゾウ骨格復元模型⑮
- ・第四紀地形の変遷(ビデオ展示)⑯
- ・埼玉の地形と地質⑰

◇ 生物展示ホール

- ・冬枯れの雑木林と池や沼①
- ・みどりこい夏のアカマツ林②
- ・いろどられるブナ林と溪流③
- ・石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞④
- ・シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤

◇ 企画展示室(2階)

- 各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示しています。

◇ 季節展示コーナー(2階)

- 季節の移り変わりを写真中心に展示しています。

◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

- 身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声をおしやべりマイマイ(展示物解説用具)により聞くことができます。

V. 平成28年度事業計画

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めます。

2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施します。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 常設展示の充実

ア 地学展示ホールを一部改修し、展示内容、展示物の充実を図ります。

イ オリエンテーションホールから地学展示ホールにかけて、国指定天然記念物に関する展示を設けます。展示改修工事期間は平成29年1月16日(月)～1月30日(月)の予定で、この期間を臨時休館とします。

ウ 地学・生物両展示ホールの褪色・汚損が見られるパネルや、最新の学術情報の解説が必要な展示を制作更新します。

② 「体験ゾーン」の維持管理

野生動物を身近に感じてもらうために、傷んだはく製を入れ替えるなど、「さわれるはく製コーナー」の維持管理に努めます。

また、ディスプレイコーナーや植物コーナーの修繕、更新を随時実施します。

(2) 特別展の実施

① タイトル：「現代有用植物展～暮らしと植物のステキな関係～」

期 間：平成28年9月24日(土)～平成29年1月15日(日)

会 場：企画展示室、オリエンテーションホール

概 要：昔から人の暮らしに様々な形で利用された植物が、現代ではどのような形で利用されているかを紹介します。

② タイトル：「都幾川・槻川」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：平成28年4月1日(金)～平成28年6月19日(日)

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室

概 要：清流と豊かな自然環境、文化が共存する都幾川・槻川流域の魅力を、実物資料や写真を通してお伝えします。

(3) 企画展示の実施

① タイトル：「花粉が教えてくれること」

期 間：平成28年4月1日(金)～平成28年6月19日(日)

会 場：企画展示室

概 要：花粉によって、花のある植物の進化や昔の環境など、様々なことを推定することができます。花粉からわかることや花粉のかたちの多様性を紹介します。

② タイトル：「ジオパーク秩父のアナ」

期 間：平成 28 年 7 月 2 日（土）～平成 28 年 8 月 31 日（水）

会 場：企画展示室

概 要：ジオパーク秩父には石灰岩地が広がり、各地に鍾乳洞をつくります。今回は鍾乳洞の他、断層洞、ポットホールなど、大小さまざまな「穴」という視点から紹介します。

③ タイトル：「骨と皮～からだを支えるいろんなひみつ～」

期 間：平成 29 年 2 月 4 日（土）～平成 29 年 3 月 31 日（金）

会 場：企画展示室

概 要：生き物の骨と皮の役割や種類によってのちがい、外骨格や内骨格のちがいについて紹介します。

(4) 季節展示の実施

① タイトル：「春の昆虫」

期 間：平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 28 年 5 月 1 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

概 要：早春から晩春にかけての昆虫たちのうつり変わりを紹介します。

② タイトル：「祝！国天然記念物指定」

期 間：平成 28 年 5 月 2 日（月）～平成 28 年 6 月 26 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

概 要：平成 28 年 3 月 1 日に国の天然記念物に指定された秩父の露頭や古秩父湾に生息した動物群の化石について紹介します。

③ タイトル：「賢治秩父訪問 100 周年」（企画展連携）

期 間：平成 28 年 6 月 28 日（火）～平成 28 年 9 月 4 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

概 要：宮沢賢治が学生時代、地質巡検で秩父を訪れてからちょうど 100 年を迎えるのを記念して、賢治の足跡をたどります。

④ タイトル：「本多静六生誕 150 年」（特別展連携）

期 間：平成 28 年 9 月 13 日（火）～平成 29 年 1 月 15 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

概 要：久喜市で生まれ、日本で初の林学博士となった本多静六の生誕 150 年を記念して、業績やゆかりの地を紹介します。

⑤ タイトル：「空飛ぶ夜の動物」

期 間：平成 29 年 1 月 31 日（火）～平成 29 年 3 月 31 日（金）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

概 要：普段目にすることのできないムササビ・コウモリ・アオバズク・ゴイサギのすがたを紹介します。

(5) 共催展示の実施

① タイトル：「埼玉の自然をのぞいてみよう」

期 間：平成 28 年 7 月 16 日（土）～平成 28 年 8 月 29 日（月）

会 場：羽生市立図書館・郷土資料館

概 要：羽生で見られるけものや鳥を中心にはく製を展示します。

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。平成28年度は、次の事業を実施します。

- | | |
|---------------------|-----------|
| (1) 自然史講座 | 10回 (10日) |
| (2) 観察会 | 10回 (10日) |
| (3) ミュージアムトーク | 43回 (43日) |
| (4) 各団体との共催・協力イベント | 11回 (11日) |
| (5) その他事業 | 5回 (21日) |
| (6) 学校、社会教育団体への学習支援 | |

理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援

40回 (40日)

(7) 指導者対象講座の開催

- | | |
|-----------------|---------|
| ① 教員のための博物館の日 | 1回 (3日) |
| ② 授業に役立つ自然史体験講座 | 1回 (1日) |

※ 上の①、②は期日を連続させて実施する。(①の中に②を含ませる。)

(8) 各種研修会・教育研究団体の受け入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れます。

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| ① 中学校初任者研修 (教科別研修・理科) | 1回 (1日) |
| ② 中学校5年経験者研修 (教科別研修・理科) | 1回 (1日) |
| ③ 小・中学校初任者研修 (みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修) | 6回 (6日) |
| ④ 高等学校・特別支援学校等5年経験者研修社会貢献活動体験研修 | 1回 (2日) |
| ⑤ 20年経験者研修 (社会体験・ボランティア体験研修) | 1回 (3日) |

(9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受け入れ

- | | |
|-----------------------------|--|
| ① 博物館学芸員実習 (7日間) | |
| ② 中学生職場体験実習 (3日間) | |
| ③ 障害者県庁職場実習 (職場体験コース) (3日間) | |
| ④ 大学生県庁インターンシップ (7日間) | |

(10) 自然の博物館友の会の活動への支援

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ① 定期総会、野外観察会 (5回)、交流会 (1回)、役員会の開催 | |
| ② 会報「みんなの自然史」第83～84号 | |

(11) 各種印刷物の刊行・配布

- | | |
|--|--|
| ① 埼玉県立自然の博物館報 第11号 | |
| ② 埼玉県立自然の博物館研究報告 第11号 | |
| ③ ミュージアムカレンダー (イベント年間予定案内) | |
| ④ 自然の博物館ニュースレター「澗」 第27号～第28号 | |
| ⑤ 特別展「現代有用植物展～くらしと植物のステキな関係～」及び特別展「都幾川・槻川」の図録及びポスター、リーフレット | |
| ⑥ 企画展「ジオパーク秩父のアナ」、「骨と皮～からだを支えるいろんなひみつ～」のポスター、リーフレット | |

- ⑦ 展示解説リーフレット
- ⑧ 観察会や自然史講座のテキストや研究発表会の資料
- ⑨ 自然の博物館利用促進のためのリーフレット

(12) ボランティアの受入

生涯学習や自己実現の場を提供し、重要なパートナーとして、博物館活動の質を高めます。

- ① 展示解説ボランティア
ボランティアによる展示解説を実施します。
- ② 普及事業ボランティア
観察会・講座等の事業の補助を行います。
- ③ 資料整理ボランティア
専門知識のあるボランティアにより、標本化作業の補助を行います。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集の補助を行います。

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施します。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 昆虫を中心とする無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管されている自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の積極的公開
- (11) 収蔵資料整理のための臨時休館（平成28年9月5日（月）～9月12日（月）の予定）

5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行います。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努めます。

分野別研究テーマ

- ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
- ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業特別調査
カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する特別調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料として活用します。
- (3) 自然遺産基礎調査「石灰岩地総合調査」

秩父地域一帯に広がる石灰岩地の現状や地形、動植物の生息・生育状況について基礎調査を行います。

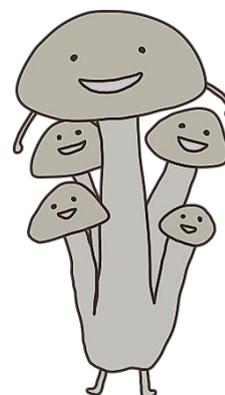
(4) 外部研究者の受入と活用

外部の研究者に施設や収蔵資料を活用してもらい、また、共同研究を行って博物館の基礎的力量を高めます。

6 国指定天然記念物関連事業

国指定天然記念物（指定名称「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」）について、広く県民に知らせるために次の事業を新たに展開します。

- (1) 「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」リーフレット改訂版の配布
- (2) 「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」解説書の販売
- (3) 展示ホール内に「天然記念物コーナー」の設置
- (4) 観察会、記念イベントの実施
- (5) 記念品、グッズの作成、販売



当館のマスコットキャラクター
「におしめくん」

VI. 平成27年度事業報告

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めました。

(1) 歳出予算

(単位：千円)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
管理運営費	14,145	20,376	19,000	21,579
資料収集整理事業費	819	1,052	807	688
展示・教育普及事業費	1,674	2,117	8,252	7,592
合計	16,638	23,545	28,059	29,859

(2) 平成27年度入館者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	1,665	65	1,730	1,142	5	267	1,409	3,139	26
5	3,096	160	3,256	1,966	25	2,949	4,915	8,171	28
6	1,547	64	1,611	988	14	526	1,514	3,125	25
7	3,418	101	3,519	2,597	26	1,974	4,571	8,090	31
8	7,674	544	8,218	6,469	7	177	6,646	14,864	31
9	2,425	197	2,622	1,619	10	441	2,060	4,682	21
10	1,862	47	1,909	1,293	33	1,793	3,086	4,995	28
11	4,788	130	4,918	2,753	11	605	3,358	8,276	26
12	1,117	36	1,153	630	2	82	712	1,865	24
1	110	1	111	84	0	0	84	195	2
2	1,153	52	1,205	985	3	38	1,023	2,228	24
3	1,689	122	1,811	1,232	4	120	1,352	3,163	28
合計	30,544	1,519	32,063	21,758	140	8,972	30,730	62,793	294

(3) 施設の利用状況

各種団体の施設利用件数は、次のようになっています。

① 会議室 34件 (学校10件、一般24件)

番号	申請者	利用日
1	内田学園七沢希望ヶ丘初等学校	H27.4.2
2	友の会役員会	H27.4.17

3	秩父市立荒川西小学校	H27.5.21
4	宇都宮市西駒生自治会	H27.6.14
5	生涯学習文化財課	H27.6.26
6	神の教会保育園	H27.7.9
7	星の子幼稚園	H27.7.16
8	県立高校5年経験者研修社会貢献活動体験研修	H27.8.19
9	県立高校5年経験者研修社会貢献活動体験研修	H27.8.20
10	友の会会報編集委員会	H27.8.28
11	友の会会報編集委員会	H27.9.4
12	友の会役員会	H27.9.18
13	上尾市立上平中学校特別支援学級	H27.9.29
14	さいたま市立片柳中学校、さいたま市立春野中学校(合同)	H27.10.1
15	日高市特別支援連盟	H27.10.15
16	熊谷特別支援学校(初等部)	H27.10.20
17	桃の木保育園	H27.10.23
18	上尾市教育センター(適応指導教室)	H27.10.27
19	中学校理科初任者研修	H27.10.29
20	多摩六都科学館組合行政視察(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の各市長・議員等)	H27.10.30
21	身障者職場体験報告会(「かつぽ」)	H27.11.5
22	ものがたり文化の会	H27.11.15
23	秩父地域振興センター(県内地域振興センター所長会議)	H27.11.27
24	友の会役員会	H27.12.10
25	埼玉県議会事務局(観光議員連研修会)	H27.12.25
26	友の会役員会	H28.1.19
27	友の会交流会	H28.2.7
28	皆野町立三沢小学校	H28.2.9
29	埼玉博物館連合会議	H28.2.18
30	天然記念物関係連絡会議(生涯学習文化財課、関係市町村)	H28.2.23
31	国際自然大学校(彩の国シニア自然大学校)	H28.2.24
32	展示解説ボランティア研修会	H28.2.24
33	嵐山町しらこぼと保育園	H28.3.8
34	友の会幹事会	H28.3.11

② 講堂 64件 (学校38件、一般26件)

番号	申請者	利用日
1	城西大学附属川越中学校	H27.4.8
2	皆野町立国神小学校	H27.4.24
3	秩父市立西小学校	H27.5.1
4	友の会総会	H27.5.9

5	飯能市永田自治会	H27.5.10
6	日高市立高萩小学校	H27.5.12
7	小・中学校初任者研修 (みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	H27.5.14
8	慶應義塾幼稚舎	H27.5.15
9	小・中学校初任者研修 (みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	H27.5.15
10	名細歴史散歩の会	H27.5.16
11	小・中学校初任者研修 (みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	H27.5.19
12	歴自の会 (木更津観光協会)	H27.5.20
13	美里町立東児玉小学校	H27.5.27
14	深谷市立川本北小学校	H27.5.28
15	日高市立武蔵台小学校	H27.6.2
16	北本市立中丸東小学校	H27.6.2
17	熊谷市立市田小学校	H27.6.4
18	武南中学校	H27.6.9
19	川口市立幸町小学校	H27.6.24
20	東松山からこ保育園	H27.7.3
21	秩父市立高篠中学校	H27.7.8
22	地域の子供を考える会	H27.7.12
23	熊谷市立江南中学校	H27.7.14
24	生品保育園	H27.7.18
25	八潮市立中川小学校	H27.7.20
26	花積幼稚園	H27.7.23
27	新座市立第四小学校	H27.7.24
28	浦和特別支援学校	H27.7.29
29	練馬区教育委員会学校教育支援センター	H27.7.31
30	第二風の子放課後学童クラブ	H27.8.12
31	加須げんきプラザ	H27.8.18
32	行田市青少年育成会	H27.8.20
33	ボーイスカウト東松山第一団	H27.8.21
34	ラボ教育センター埼玉川越地区	H27.8.24
35	たけのこ学童クラブ	H27.8.26
36	加須市青少年相談員協議会	H27.8.30
37	飯能市立東吾野小学校	H27.9.3
38	県立熊谷特別支援学校	H27.9.15
39	豊島区立仰高小学校	H27.9.17
40	豊島区立巣鴨小学校	H27.9.29
41	坂戸市立勝呂小学校	H27.9.30
42	小鹿野町立小鹿野小学校	H27.10.2
43	小・中学校初任者研修 (みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	H27.10.6
44	小・中学校初任者研修 (みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	H27.10.8

45	成立学園高等学校	H27.10.8
46	小・中学校初任者研修（みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修）	H27.10.9
47	多摩六都科学館ボランティアスタッフ	H27.10.13
48	さいたま市立原山中学校（他2校の特別支援学級合同）	H27.10.16
49	春日部市立南桜井小学校	H27.10.20
50	秩父子ども園	H27.10.23
51	中学校初任者研修（理科）	H27.10.29
52	東京学芸大学附属世田谷中学校	H27.10.30
53	日本宇宙少年団さいたま支部	H27.11.7
54	川越市立霞が関第二保育園	H27.11.10
55	鹿島学園高等学校（通信制）	H27.11.19
56	秩父市立荒川西小学校	H27.11.24
57	ときがわ町立萩ヶ丘小学校	H27.11.25
58	風の子保育園	H27.11.26
59	サイエイ Lab	H27.11.28
60	自由学園中等部	H27.12.10
61	埼玉県議会観光産業政策推進議員連盟 視察	H27.12.25
62	友の会交流会	H28.2.7
63	おがわ幼稚園	H28.3.9
64	東京都立南多摩中等教育学校	H28.3.29

③ 科学教室 8件（学校5件、一般3件）

番号	申請者	利用日
1	県立熊谷西高等学校 SSH	H27.4.26
2	県立熊谷西高等学校 SSH	H27.6.14
3	ときがわ町教育委員会 子ども大学	H27.7.31
4	東京電機大学	H27.8.26
5	社会福祉法人熊北会 奈良保育園	H27.10.16
6	中学校理科初任者研修	H27.10.29
7	埼玉きのこ研究会	H27.12.6
8	県立熊谷西高等学校 SSH	H28.3.13

2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施しました。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 生物展示ホールの充実

ア ジオラマ「石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞」向かい側に立ち見ケースを設け、石灰岩地や鍾乳洞で生きる生物を追加しました。



新たに設置した立ち見ケース

イ ジオラマ「初夏の原生林」に解説パネルを設置し、ジオラマ内に生物（動物2種、植物1種、菌類2種）を追加しました。

ウ ジオラマ「冬枯れの雑木林」、「シャクナゲ咲く初夏の原生林」の前ののぞきケースを3台増設し、展示物を追加しました。

エ ジオラマ「冬枯れの雑木林」、「みどりこい夏のアカマツ林」の中に、動物1種、菌類1種を追加しました。



ジオラマ「初夏の原生林」

② オリエンテーションホールの充実

長瀨コーナーに、岩畳で見られる昆虫の実物標本と植物（テリハノイバラ）のレプリカを追加しました。

③ 展示資料および展示器材等の補充・管理

常設展示で使用している資料の補充や、展示台等の器材の補修・交換を行いました。

④ 「体験ゾーン」の維持管理

野生動物を身近に感じてもらうために、「さわられるはく製コーナー」に設置してある触察剥製の一部（ノウサギ、ホンドギツネ、テン）を入れ替えるとともに、鳥類に代え外来種（アライグマ、ハクビシン）を追加しました。

また、ディスカバリーコーナーや植物コーナーの展示物の補充、修繕・入替えに努めました。



さわられるはく製(アライグマ、ハクビシン、ホンドイタチ)

(2) 特別展の実施 * () は副担当

① タイトル：「うんち・糞・フン～ダンゴムシからゾウまで～」

期 間：平成 27 年 7 月 11 日（土）～平成 27 年 8 月 31 日（月）

会 場：企画展示室

見学者：21,932 名

担 当：奥村（曾根崎）

概 要：糞は動物の種類によって様々な形や大きさをしており、動物たちのくらしの情報が満載です。そのような糞の見比べ方を紹介しました。



② タイトル：「魚と人の知恵くらべ～魚の生態と伝統漁法～」

（企画：自然の博物館、運営：川の博物館）

期 間：平成 27 年 7 月 18 日（土）～平成 27 年 8 月 31 日（月）

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室

見学者：18,249 名

担 当：小林（東）

概 要：魚と人の知恵くらべという観点から荒川水系で行われていた伝統漁法と荒川に棲む魚の生態について紹介しました。



(3) 企画展示の実施 * () は副担当

① タイトル：「お蔵出し新収集品展」

期 間：平成 27 年 4 月 1 日（水）～平成 27 年 6 月 28 日（日）

2つの特別展のパンフレット

会場：企画展示室

見学者：14,403名

担当：井上（木山）

概要：荒川河床で発見されたクジラの化石、チョウや甲虫のコレクション、アカショウビンやオオタカの骨格標本など、近年（平成18年以降）新たに収集された資料を紹介しました。

② タイトル：「パレオパラドキシア～大野原標本発掘から40年～」

期間：平成27年9月19日（土）～平成27年12月27日（日）

会場：企画展示室

見学者：18,521名

担当：北川（清家）

概要：約1500万年前の埼玉の海には、いまだに謎の多い化石生物・パレオパラドキシアが生きていました。埼玉県はこの化石生物の世界一の産地。パレオパラドキシアの進化と埼玉の海に生きていた化石生物たちを紹介しました。

③ タイトル：「花粉が教えてくれること」

期間：平成28年1月30日（土）～平成28年3月31日（木）

会場：企画展示室

見学者：5,586名

担当：木山（井上）

概要：花粉というと花粉症のイメージが強いのですが、花のある植物の進化や昔の環境など、様々なことを教えてくれます。花粉からわかることや、かたちの多様性を紹介しました。

(4) 季節展示の実施 *（ ）は副担当

① タイトル：「春を待つ生きもの」

期間：平成27年4月1日（水）～平成27年4月26日（日）

会場：2F廊下季節展示コーナー

見学者：2,780名

担当：奥村（木山）

概要：寒い冬を生き抜く生きものたちの、生きるための工夫を紹介しました。

② タイトル：「まつぼっくりができるまで」

期間：平成27年4月28日（火）～平成27年7月10日（金）

会場：2F廊下季節展示コーナー

見学者：12,677名

担当：木山（曾根崎）

概要：いろいろな種類のまつぼっくりの成長の様子を紹介しました。

③ タイトル：「うんちの豆知識」

期間：平成27年7月11日（土）～平成27年9月6日（日）

会場：2F廊下季節展示コーナー

見学者：22,773名

担当：曾根崎（奥村）



3つの企画展のパンフレット

概要：動物の糞について、実になる(?)豆知識を紹介しました。

④ タイトル：「活火山と埼玉」

期間：平成27年9月15日(火)～平成27年12月27日(日)

会場：2F廊下季節展示コーナー

見学者：18,977名

担当：井上(清家)

概要：埼玉県に活火山はありませんが、浅間火山、八ヶ岳火山、日光白根火山など、埼玉県をとりまく活火山は多くあります。「埼玉県に関係あるの?」「もし噴火したら埼玉県はどうなるの?」などの疑問に答えました。

⑤ タイトル：「春の昆虫」

期間：平成28年1月30日(土)～平成28年3月31日(木)

会場：2F廊下季節展示コーナー

見学者：5,586名

担当：半田(曾根崎)

概要：早春から晩春まで、季節に連れて移り変わる昆虫たちを紹介しました。

(5) 共催展示の実施(出張展示含む) * ()は副担当

① タイトル：「埼玉の鳥と生きもの」

期間：平成27年7月18日(土)～平成27年8月31日(月)

会場：羽生市立図書館・郷土資料館

見学者：3,572名

担当：奥村(曾根崎)

概要：鳥を中心とした埼玉県内にすむ生きもののはく製・標本を多数展示、紹介しました。

② タイトル：「埼玉の化石と地質～古秩父湾の生き物と地質の美～」

期間：平成27年7月10日(金)～平成27年7月31日(金)

会場：飯能市民センター

担当：北川

見学者：8,895名

概要：埼玉の地質と産出した化石を紹介しました。

③ タイトル：「自然の博物館がやってきた！」

期間：平成27年7月30日(木)～平成27年9月12日(土)

会場：鴻巣シネマ

担当：北川

見学者：34,358名

概要：恐竜が登場する映画を上映するのに伴い、恐竜時代に生息していたアンモナイトの化石を展示しました。

④ タイトル：「1500万年前の世界 in Higashimatsuyama ～葛袋の化石～」

期間：平成27年8月3日(月)～平成27年8月31日(月)

会場：東松山市埋蔵文化財センター

担当：北川

見学者：1,032名

概要：東松山市葛袋地区で産出した化石を中心に、新生代に生きていた生物の化石や資料を

展示しました。

⑤ タイトル：「祝国指定天然記念物 古秩父湾」

期 間：平成 27 年 11 月 30 日（月）～平成 27 年 12 月 11 日（金）

会 場：県庁 3 F 渡り廊下

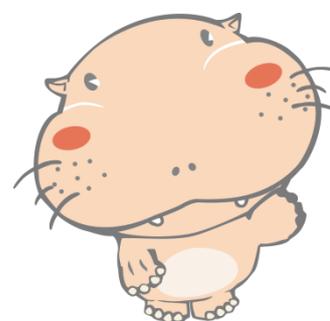
担 当：北川、相馬

見学者：未計測

概 要：11月20日に当館所蔵のパレオパラドキシア化石など9点と、秩父地区の新生代の代表露頭群6か所が国指定天然記念物に答申されたこと（指定名称「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」）を受け、化石や露頭の写真、解説等を掲示しました。

(6) おしゃべりマイマイ(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数
H27年4月	490	H27年10月	483
H27年5月	702	H27年11月	751
H27年6月	363	H27年12月	242
H27年7月	781	H28年1月	49
H27年8月	1443	H28年2月	357
H27年9月	550	H28年3月	491
		合計	6,702



当館のマスコットキャラクター
「大野原治（おおのはらおさむ）」